

世界を代表するメルセデス・ベンツの
メカニックとして、高い意識で働く。



近藤 禄朗 さん (1995年生まれ)

西尾東高校 出身

愛知工科大学 工学部機械システム工学科
1級自動車整備士養成課程卒業

豊橋ヤナセ株式会社

豊橋市大村町大賀里 88

<https://www.mercedes-benz-toyohashi.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 自動車整備士
- 主な進路 / 高校卒業→自動車整備士課程のある短大に進学→2級自動車整備士資格取得→1級自動車整備士課程のある大学に3年次編入→1級自動車整備士資格取得→自動車販売店に就職

— 学生時代

「どこにでもいる普通の高校生活を送っていました。もともとは就職を考えていたのですが、車やバイクが好きなることを知っていた担任の先生から、自動車整備の専門的な知識と技術が学べる愛知工科大学自動車短期大学をすすめられ、進学しました」

大学・短大時代について教えてください。

「エンジンの構造と原理、自動車の基本構造、点検や整備などについて学びました。大学での学びを通して、自動車整備士としての基礎を作ることができたと思います。愛知工科大学自動車短期大学に通う学生は、自動車についての知識と技術をしっかりと学ぶんだという目的意識が明確な印象がありました。卒業するころには、自動車についての専門的な知識が深まっていると思いますよ」

— 仕事について

「卒業後、豊橋ヤナセ株式会社にて自動車整備士として就職しました。大学が開催する企業説明会がきっかけです。企業説明会では、たくさんのお客様の企業を紹介してもらったのですが、なかでも弊社はメルセデス・ベンツ正規販売店ということで単純に『カッコイイ』『モチそう!』という第一印象だったことを覚えています(笑)。あとは、整備工場に冷暖房が完備しているなど設備が整っていることや、キレイな職場環境に惹かれました。高級車を



取り扱う会社ではありませんが、働く先輩たちや人事担当の方がとても気さくな方ばかりで、人間関係のよさにも惹かれて入社を決めました」

仕事内容を簡単に教えてください。

「その名の通り、自動車の整備をすることが私の仕事です。お客様が安全に自動車を運転できるように、自動車の点検・検査、オプション品の取り付けなどをおこないます。故障している自動車は、原因を検査して問題箇所を修理します。わかりやすく言うと、自動車のお医者さんのような感じですね。基本的には、1台の自動車を1人で担当します」

— やりがい

「故障の原因を予測して探しながら点検をするのですが、なかなか原因が見つからないこともあります。いろいろなケースを模索し、原因を探し当て無事に修理がおこなえたときにやりがいを感じます。さまざまなかケースを対応して経験を積むことで自身の成長も感じていますよ。また、3000万円以上もする高級車を担当することも多いです。オイル交換ひとつにしても、世界を代表するメルセデス・ベンツのメカニック

クとして、高い意識で働くことができるのは大きな魅力のひとつだと思います」

— メッセージ

「私は愛知工科大学自動車短期大学に進学し、2級自動車整備士の資格を取得しました。そこから愛知工科大学の1級自動車整備士養成課程に3年次編入。1級整備士を取得して、自身のキャリアにいかしています。高校時代は、勉強・部活・学校行事などに、高校生のときにしかできないことに全力で取り組んでください。社会に出たときに、その経験が大きな財産になると思いますよ」



- 18歳 愛知工科大学自動車短期大学に入学。2級自動車整備士の資格を取得。
- 22歳 愛知工科大学工学部に編入・卒業。1級自動車整備士の資格を取得。
- 26歳 メルセデス・ベンツ正規販売店のメカニックとして大きな誇りを胸に日々奮闘中。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



美容師には、コツコツ努力する姿勢や
何事も投げ出さない気持ちが大切。



小林茉莉奈さん(1997年生まれ)
岡崎東高校 出身
中部美容専門学校 卒業

SABA hair space
岡崎市美合町入込88-7
<http://saba-saba.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 美容師免許
- 主な進路 / 高校卒業→美容関係の専門学校に進学→国家試験に合格し、美容師免許を取得→サロンに就職→アシスタントを経てスタイリスト

— 学生時代

「美容師をめざそうと思ったのは小学校高学年のころ。昔から髪の毛をいじることが好きだったんです。高校時代はバレーボール部に打ち込んでいたので、髪の毛も短くて美容とはかけ離れた生活でしたけど、部活で鍛えられたメンタルは、社会に出てからも役に立っています」

「専門時代について教えてください。」

「高校卒業後、中部美容専門学校に進学しました。見学に行ったときの雰囲気、国家試験合格率や就職率などの数字を見て選びました。ひたすら毎日、パーマを巻くワインディングなどの技術練習に取り組んだことが印象に残っています。宿題が毎日出て大変でしたけど、それを欠かさずにやった経験が自信になり、国家試験にも安心感をもって臨むことができました。派手な世界を想像していましたが、その基盤にあるのは地道な練習の積み重ねだ、ということも実感しました。あとは、高校生が見学に来るオープンキャンパスの委員会に参加したことも印象深いです。高校生に魅力が伝わるように、接し方や案内の仕方を工夫したことは接客にもいきています」

— 仕事について

「最初の1、2ヶ月は、お出迎えやクローズの掛け方、シャンプー、お見送りなどの基礎を学びました。ヘッドスパ、シャンプーとドライ、カラー、ヘアセットなどのアシスタント業

— メッセージ

「まず美容師免許を取得する必要があります。美容専門学校に進学して基礎を学び、国家試験に合格するのが王道です。私は中部美容高等学校見学に行ったとき、そこに通う専門学生の姿を見て、自分の理想に近いものを感じました。しっかりと目標をもって真剣に学ぶ雰囲気を感じましたし、私も実際に中部美容での生活を通して地味な作業も嫌がらずにコツコツ努力する姿勢が身についたと思います。美容師には、そういった努力する姿勢や何事も投げ出さない気持ちが大切ですよ」

— やりがい

「やりがいを感ずるのは、『すごいよ』となった。ありがとう！とお客様にお礼を言われたときですね。中には、『次もあなたにやってもらいたい』と言ってくださる方もいます。カットに限らず、ヘッドスパやシャンプーなど、どんなことでも『あなたがいい』と指名してもらえると自信につながりますしうれしいです。私の目標は、『親しみやすい美容師』『憧れの存在』というよりは、なんでも相談できるような身近な存在をめざしています」



年齢

18歳

↓

20歳

↓

24歳

バレーボールに熱中した高校生活。卒業後、中部美容専門学校へ進学。

地道な練習の積み重ねから美容師の基盤を築く。美容師免許を取得。

どんなことでも相談できる「親しみやすい美容師」をめざし、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



列車の安全運行に
必要不可欠な仕事。



ロブレス翔さん(1994年生まれ)

西尾東高校 出身
中部大学 工学部卒業

東海旅客鉄道株式会社

名古屋市中村区名駅1-1-4 JRセントラルタワーズ
https://jr-central.co.jp

- なるためには
- 必要資格 / 特になし
 - 主な進路 / 高校または大学を修了→鉄道会社に就職

—学生時代

「学生時代は、バスケット部の活動と友達と遊んだことが思い出に残っています。授業は数学や物理などの理系科目が好きでした。高校卒業後は、ずっと興味のあった建築を学ぶために中部大学都市建設工学科に進学しました」

—大学時代について教えてください。

「建物を立てるために必要な応力の計算、建物が崩れないようにするための耐震計算など、土木分野の講義が中心。ほかには、材料力学、構造力学なども学びました。大学時代はJRで通学していたのですが、そのときに線路で作業をしている人を車内から見てこの人たちのおかげで電車は動いているんだということとを改めて感じました。将来は、住民のライフラインである鉄道に携わる仕事に就きたいと思うようになりました。それがJR東海を志望した理由です」

—仕事について

「最初の2ヶ月間は、社会人としてのマナー、鉄道や線路に関する基礎的な知識を学びました。研修後は現場に配属され、初めて線路の上で仕事するようになります。仕事内容としては、JR東海の在来線、レールと線路設備の点検と保守をおこなっています。電車は1日何百本も線路の上を通るので、必然的に設備が劣化してしまうんです。試験車がレールを走ると、メンテナンスが必要な箇所がデータとして出てくるので、そこを把握し、最終的に

—メッセージ



は人の目で確認をして補修作業を繰り返します」

—具体的にどのような点検や保守をおこなうのですか？

「たとえば、線路に木が倒れそうになっていたら倒れる前に取り除いたり、レールを締結しているボルトを締めたり、線路沿線の状態を見たりとさまざまですね。列車が安全に線路の上を通ることができると定期的に点検し、必要があれば工事をおこないます。3年目までは現場で作業をしていましたが、現在は工事の計画や予算管理が中心です。線路の取り替えが必要な箇所が見つかったら、予算を確認してスケジュールを立て、関係会社に依頼して工事をおこないます」

—やりがい

「私たちの仕事は、線路を常にいい状態に保つこと。安全に列車を通すために必要不可欠な仕事です。そう考えると、とても誇らしい気持ちになりますね。この仕事は、ひとりではできないものではないのでチームで協力しておこないます。みんなで何かを成し遂げられたときは、大きな達成感を感じます」



18歳 部活に熱中した高校時代。興味があった建築を学ぶため、中部大学へ。
22歳 人々のライフラインを守ることに魅力を感じ、JR東海に入社。
27歳 線路の点検、保守を経験し、現在は工事の計画を任される立場に。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！
<http://amb100search.com>



「僕自身、JR東海に入社するまで鉄道や線路のことはまったく知らなかった。専門的な知識や技術は仕事をするなかでいくらでも習得できますよ。特に必須となる資格はありません。この仕事はチームでおこなうので、仲間のことを思っ協力できる人に向いていると思います。社会人になると、学生時代が懐かしく感じ、時にはうらやましくもなります。みなさんには、何事にも全力で取り組み、悔いのない学生時代を送ってほしいです。ぜひ青春を謳歌してくださいね！」

モノづくりの現場を支える。
専用機械の制御盤・操作盤の配線を担当し、



加納愛莉さん(2001年生まれ)

岡崎商業高校 出身

株式会社近藤製作所

蒲郡市清田町大口3-1
https://www.konsei.co.jp/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→産業用ロボットシステムの開発や自動車部品の製造をおこなう企業に就職→専用機械の配線を担当

— 学生時代

「商業高校というところでもあって資格試験をたくさん受け、秘書検定2級、全商簿記検定1級、全商情報処理検定1級などの資格を取得しました。当時は、大好きなアイドルがいたので、毎週のようにライブに通っていたことが思い出に残っています」

就職先を選んだ決め手は?

「就職先選びの軸にしたのは、通勤がしやすいことを考えて地元三河の企業で探しました。高校に来ていた求人票のなかから選び、産業用ロボットシステムの開発や自動車部品の製造をおこなう近藤製作所に就職しました」

— 仕事について

「入社後、まずはハンダゴテやニッパーなど、工具の名前や使い方を覚えるところからスタートしました。そういった初歩的なことを、2、3ヶ月かけて少しずつ覚えていきました。先輩から教わったことで、いまも心がけていることは、製品の見た目をキレイに仕上げること。その意識を忘れずに現在も仕事に取り組んでいます。研修後は、ハンダゴテを使ってハンダ付けや、ニッパーを使って電線を切ったりし、または、専用工具で圧着したりする仕事を任せられました」

仕事内容を簡単に教えてください。

「私たちが作った専用機械は、自動車部品の製造工場などに納品されます。組立担当の方たちと協力して作り上げていくのですが、私は、専

— メッセージ

「入社時に必須となる資格はありません。私も知識や技術がゼロから始めました。仕事を始めてから覚えていけば問題ないですよ。私は、入社後に高所作業、感電防止、低圧電気取扱特別講習を受けました。学生時代は限られた世代の人たちと交流することが多いと思いますが、会社には幅広い年齢の人がいます。性格もさまざま。それに対応できる協調性が求められると思います。私があるために心がけていることは、ずっと笑っていること(笑)。みなさんも笑顔を大切にしてくださいね」



具体的な作業内容とは?

「大きな板にCPUやサーボアンプ、リレーなどの部品を取り付けていき、それらを電線で結んでいきます。あとは、この大きな板を、大きな箱制御盤に入れて、すべての線を端子台にキレイに配線して完了させ、組立担当へ渡します」

— やりがい

「やりがいを感じるのには、私が配線を組んで作り上げた製品が無事に出荷されたときです。「何事もなく終わった」という安堵感と大きな達成感を得られる瞬間です。その専用機械を試運転しているときに、現場で問題なくしっかりと動いている様子を見るのもうれしいですね」



18歳
19歳
20歳

資格取得に励んだ高校時代。卒業後は、近藤製作所に就職。

工具の名称や使い方など、製造現場の基礎を1から覚える。

専用機械の制御盤や操作盤の配線を担当し、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



お困りごとを解決するのが私の仕事。
感謝の言葉をやりがいにつなげる。



藤田 菜帆さん (1998年生まれ)

時習館高校 出身
愛知県立大学 教育福祉学部卒業

ミカワリコピー販売株式会社

豊橋市大岩町沢渡 92-2
https://www.mrnet.co.jp/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学進学→オフィス機器の販売やメンテナンスをおこなう企業に就職

— 学生時代

「部活と勉強に励む一方で、ボランティアサークルに所属し、福祉関係の施設に訪問したり防災関係のことを学んだりしました。進学先に愛知県立大学教育福祉学部を選んだのは、このサークルでの経験がきっかけです。さらに3年生のときに、友人から自分とはかけ離れた家庭環境について打ち明けられたことも大きいです。それ以来、弱い立場で苦しむ人たちを支えられる人になりたいと思うようになりました。」

「福祉制度や歴史、ソーシャルワークについて学びました。印象に残っているのは、母子生活支援施設に1ヶ月間実習に行ったこと。さまざまな理由で自立した生活ができなくなってしまう親子の社会復帰を支援する施設です。とても大変でしたが、実習後は大きな達成感がありました。相手の立場に立つて考えられるようになり、それがいまの自分の軸になっています。就活では、地元で働きたいという思いがあったので東三河の企業を探し、職場の雰囲気に着かれてミカワリコピー販売に就職しました。」

— 仕事について

「当社は、複合機などのオフィス機器の販売やメンテナンス、ネットワークやソフトウェアの提案をしています。研修では自社製品やサービスについて学びました。いまもまだ勉強中で、ネットワークやシステムを本格的に学んでいる最中です。」

— やりがい

「お客様のところに行って修理をしたときに、『ありがとう』と直接感謝の言葉をいただけることがやりがいにつながっています。また、電話でお客様の状況から原因を考えて解決策を提案し、問題を解決できたときもうれしいです。」

— メッセージ

「私は学生生活を通して、さまざまな経験をしてきました。仕事と直接的なつながりはないかもしれませんが、いろいろな場面で役に立つことばかりです。好きなことをひたすらやるのもいいですし、初めてのことに挑戦してみるのもいいと思います。そのなかで、新たに自分の軸やターニングポイントになる出会いがきっとあるはず。学生時代は、仲間と協力して何かに取り組んだり、遊べる環境を大切に、3年しかない貴重な時間を思い切り楽しんでください！」



自分探検

- 18歳 部活、勉強、ボランティアと、さまざまな活動に取り組む。
- 21歳 母子生活支援施設での実習を1ヶ月経験し、多くの価値観を知る。
- 23歳 ミカワリコピー販売に入社。ネットワークやシステムについて学ぶ日々。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





調整や整備をします。そして、レース本番に向けて走行します。レース前の走行では、自分のイメージどおりにポートが動いているかを入念に確認します。今日の波の感じとポートのセッティングがしっかりと合っているかを身体で感じ、調整が必要な場合は再度調整をおこないます。この調整作業を時間の許す限り繰り返します。レースは、コースを3周して順位を決めます。レースの難しいところは、1日も同じ条件のレースはないということ。日によって天候も波の状況も違うので、エンジンやプロペラをその日にあった状態に調整できるように自分の腕を極めていく必要があります。とても難しいことですが、それがこの仕事の醍醐味でもあると思います」

ポートレーサーとして大切な心構えを教えてください。
 「まずは、事故をしない、怪我をしない、怪我をさせないこと。いつも、無事故完走を考えています。これはレースに勝つことよりも大切なことだと私は思っています。絶対に勝ちたいという気持ちが必要以上に強くも過ぎると、レース中に冷静な判断ができなくなってしまう可能性があります。自分の中で優先順位をしっかりとつけないといけません。絶対に事故をしない、そのうえで真剣に勝負をするという意識を常に心がけています。あとは、ポ

トリレーサーの基本でもある体重管理も常に意識をしています」
過去にいろいろな経験はありますか？
 「スポーツ選手の宿命でもあります。が、まわりからの期待値が高すぎる。ことが最初はつらかったですね。デビュー当時は、大きなプレッシャーを感じて心が折れそうになったことが何度もありました。『どうして勝てないんだ！』舟券を買ったのに！』といったお客様からの言葉が自分の胸に刺さり、悩んだ時期もありました。』
そのプレッシャーをどう乗り越えたんですか？
 「勝ち負けに意識を向けすぎたり、まわりの評価に一喜一憂したりするのはなく、自分自身と向き合うことが大切だと思えるようになってきました。私の出した答えは、『人に勝つのではなく、自分に勝つ』という意識。その意識をもつことで、自然と成績もよくなりました。』
「お前は、お前ができることをやり続けなさい。これは私の師匠にあたる方からいただいた言葉ですが、この言葉にはいつも助けられています」
「やりがい」
 「自分が頑張ったぶんだけ、努力が結果に表れることがやりがいに繋がっています。日ごろから練習に

「高校時代は野球部に所属していました。朝から夜まで野球漬けの日で、練習はつらかったですが精神的に鍛えられたと思います。工業高校だったので、エンジンの中身にふれる授業もあり、そういった経験はポートレーサーをめざすうえで優位性をもつことができたと思います。私は高校生のときに、すでにポートレーサーになりたいという夢をもっていたので、工業の勉強も部活も非常に有意義なものになりました」
ポートレーサーをめざしたきっかけを教えてください。
 「父がポートレース好きだったので、よくポートレース蒲郡に連れていってもらっていました。めざすきっかけになったのは、中学3年のとき。佐々木康幸選手がオーシャンカップを優勝したレースを見て、『自分もポートレーサーになりたい！』と強く思いました。スポーツ選手の中には、野球選手やサッカー選手などいろいろな競技者がいますが、私にはポートレーサーが際立って見えたんです。あの日、憧れのポートレーサーに出会えたことで、自分の人生は大きく動いていきました」
「養成所へ」
 「将来は絶対にポートレーサーになる！』と強く心に決めていたのに、ポートレーサーになるために必要なことを徹底的に調べました。たとえば、運動能力を鍛える場合も、



「学生時代って、長いようで短いですよ。みなさんには、1日1日を大切に過ごしてほしいです。まずはやりたいことを見つけ、それを深く知ることから始めてください。そして、その目標に向かって突き進むだけです。あとは、世の中にはいろいろな仕事があると思いますが、私はポートレーサーという職業を選んだ本当によかったと思います。私の姿を見て、ポートレーサーをめざすが現れることも楽しみにしています！」
「メッセージ」
 「ポートレーサーになるには、養成機関である『ポートレーサー養成所』で1年間の訓練を受け、国家資格を取得する必要があります。養成所に入る試験では、基礎学力や基礎体力、集団行動が問われます。学力試験は、過去の出題傾向を調べていくと、ある程度の決まった範囲が見えてきます。みなさんも、それぞれ自分が進みたい道には、何が必要かを知ることから始めてみてください。それができれば、あとは目標に向かって努力を重ねていくだけです。ポートレーサーに限ったことではないですが、何かを実現しようと思うのであれば、しっかりと考えたうえで行動に移すことが大切だと実感しています」
「ポートレーサーの活動」
 「レース場に入ってからでは、まずエンジンを組み立ててポートに取付けます。そして、その日の気象状況に合わせて、エンジンやプロペラの

中野夢斗さん(1996年生まれ)
 豊橋工科高校 出身



16歳

↓

19歳

↓

20歳

父親とともにオーシャンカップを観戦し、佐々木選手に憧れる。

ポートレーサー養成所に入所。プロをめざし厳しい寮生活がスタート。

養成所を卒業し、プロデビューを果たす。日々、自身を成長させる。



※モーターボート競走法により、未成年者の舟券購入および観戦はできません。ポートレース場には、大人の同伴があればご入場いただけます。



無限の可能性

4979

**YOUTH
 ユースフラッシュ
 FLASH**

三河出身の有名人インタビュー

豊橋工科高校出身のポートレーサー、中野夢斗さんを独占取材!
 中学のころに抱いたポートレーサーという夢を実現するため、ポートレーサーに必要なことを徹底的に調べたという中野選手。すべてを夢の実現に捧げて見事デビューを果たした中野選手に、ポートレーサーとしての苦労や魅力を聞いてきました。

「高校時代」
 「高校時代は野球部に所属していました。朝から夜まで野球漬けの日で、練習はつらかったですが精神的に鍛えられたと思います。工業高校だったので、エンジンの中身にふれる授業もあり、そういった経験はポートレーサーをめざすうえで優位性をもつことができたと思います。私は高校生のときに、すでにポートレーサーになりたいという夢をもっていたので、工業の勉強も部活も非常に有意義なものになりました」
ポートレーサーをめざしたきっかけを教えてください。
 「父がポートレース好きだったので、よくポートレース蒲郡に連れていってもらっていました。めざすきっかけになったのは、中学3年のとき。佐々木康幸選手がオーシャンカップを優勝したレースを見て、『自分もポートレーサーになりたい！』と強く思いました。スポーツ選手の中には、野球選手やサッカー選手などいろいろな競技者がいますが、私にはポートレーサーが際立って見えたんです。あの日、憧れのポートレーサーに出会えたことで、自分の人生は大きく動いていきました」
「養成所へ」
 「将来は絶対にポートレーサーになる！』と強く心に決めていたのに、ポートレーサーになるために必要なことを徹底的に調べました。たとえば、運動能力を鍛える場合も、

子どもたちの笑顔や成長を間近で見られることにやりがいを感じる毎日。



和仁綾音さん(2001年生まれ)

岩津高校 出身
慈恵福祉保育専門学校 卒業

青松こども園

豊田市朝日ヶ丘6-41
http://www.seishokodomoen.jp/

なるためには

- 必要資格 / 保育士資格、幼稚園教諭免許
- 主な進路 / 高校卒業→保育士、幼稚園教諭の養成課程がある専門学校に進学→保育士資格、幼稚園教諭免許を取得→こども園に就職

——学生時代

「保育者をめざしたのは、小学生のころから。親戚に保育士さんがいて興味をもったのがきっかけです。岩津高校に進学したのも、3年生になると保育園実習へ行くことが出来る生活デザイン科があったからです。実習に参加して子どもたちの笑顔にふれ、改めて『保育士っていいなあ』と思いました。高校卒業後、慈恵福祉保育専門学校に進学しました。少人数制で一人ひとりしっかりと関わってくれる先生がいたほうが、安心して子どもたちの援助の仕方を学べると思ったからです。オープンキャンパスに参加し、先輩たちが親身に関わってくれたことも決め手になりました」

——専門時代について教えてください。

「座学では、子どもの成長過程などを学びました。あとは、絵本の持ち方、読む早さ、年齢に合わせた内容など、絵本ひとつとっても、いろいろな視点から捉えることの大切さも学ぶことができました。いま役に立っていると感じるのは、壁面の作り方を学べたこと。春だったら桜、秋は焼き芋やハロウィンなど、折り紙を使って季節に合わせた学校の掲示板を分担して作りました。保育士資格と幼稚園教諭免許を取得し、青松こども園に就職しました」

——仕事について

「1年目から3歳児の担任を先輩の先生と一緒に任せてもらいました。最初に苦労したのは、15人それぞれの個性に合わせた声かけ、援助の



仕方を考えること。先輩の様子を見て、1日の動きや制作の順番、子どもたちへの伝え方などを覚えていきました」

——仕事内容を簡単に教えてください。

「日々の活動や運動会、生活発表会などの行事に取り組み、子どもたちの生活習慣や社会性の成長をサポートする仕事です。子どもたちと関わるときは、『あれ』『これ』といった言葉は使わずに、具体的な言葉で話すように心がけています。成長に合わせて声かけを変えられることが大切です。あとは、『嫌い!』『嫌だ!』といった言葉を子どもが使ったら、紙を破って見せて、『言葉は目に見えないけど、心が痛くて破れているんだよ』と説明をしたり、いろいろな工夫をして友達との関わり方を伝えるようにしています」

——やりがい

「子どもたちの笑顔や成長を間近で見られることがやりがいです。子ども同士でトラブルを解決できるようになったり、ひとりですぐ靴をはけるようになったりと、3歳児はとにかく成長が早いです。些細な成長に日々やりがいを感じています」

——メッセージ

「保育教諭として働くには、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方が必要になります。進学先を選ぶ際は、学習環境が自分に合っているのを見るためにも、オープンキャンパスに参加することをおすすめします。先輩の生の声が聞けたり、先輩と先生のやりとりから学校の雰囲気を感じられたり、パンフレットではわからない部分を見ることが出来ます。あとは、ピアノ初心者でも苦勞をした同級生がいたので、保育者をめざすならピアノは習っておいたほうがいいですよ!」



自分探し

- 18歳 親戚の影響で保育者を志す。高校卒業後、慈恵福祉保育専門学校へ。
- 20歳 ささまざまな視点から子どもとの関わりを学ぶ。保育士資格、幼稚園教諭免許を取得し、青松こども園に就職。
- 21歳 子どもたちの笑顔や些細な成長にやりがいを感じ、日々の仕事に励む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



市民の安全や健康を守ることが、
消防士としての使命。



前田将さん(1994年生まれ)

岡崎西高校 出身
愛知大学 法学部卒業

岡崎市消防本部

岡崎市朝日町3-4

<https://www.city.okazaki.lg.jp/1100/1113/1176/syoubou-copy.html>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→地方自治体が実施する消防職員採用試験に合格→消防学校に入校→各消防署に配属

—学生時代

「高校時代は、バスケットボール部の思い出が多いです。部活後の施設開放でもバスケットをするほど打ち込んでいました。そのため、高校生活の後半は勉強に追われる毎日でした(笑)。高校卒業後は、愛知大学法学部に進学しました」

「初めて法律について学んだので、わからないことだらけで大変でしたが、知識の幅を広げることができたと思います。消防士をめざしたのは、小学生のころから。テレビでカッコよく活躍する消防士の姿に憧れたのがきっかけです。運動が得意で体力をいかせせる仕事がいいという思いもありました。大学が実施する公務員試験対策講座を受講し、過去の出題傾向などをもとに対策して試験に挑みました」

—仕事について

「最初の半年間は、消防学校で研修を受けることになります。防火衣を着て呼吸器を背負って走ったりホースを伸ばしたりと、さまざまな訓練を受けました。規律も厳しく、肉体的にも精神的にも成長できたと思います。厳しい訓練を乗り越えられたのは、寮生活をともにした仲間たちの支えがあったからです。仲間と一致団結して乗り越えることができました」

消防学校で学んだことは？

「先輩から『実際の現場はもっと過酷だから、その日の訓練で自分の力を使い果たすくらいの覚悟で挑ん

—やりがい

「市民の方から感謝の言葉をいただいたときにやりがいを感じます。私が救急隊として搬送した方が、後日、消防署まで出て来てくださり、お礼の言葉をかけてくださったこともありました」



「消防士になるためには、各地方自治体が実施する消防職員採用試験に合格する必要があります。採用後、消防車などを運転する際には、車種に応じた運転免許が必要となりますが、採用にあたり必須となる資格はないので、やる気さえあれば大丈夫ですよ。学生時代は、やりたいと思ったことには悩まず挑戦してみてください。みなさんには、いろいろなことを経験してほしいです。もし失敗してしまったとしても、それは将来、必ず自分の糧になりますよ！」

ありがとうございます。

—メッセージ

- 18歳 バスケットボールに熱中した学生時代。卒業後、愛知大学に進学。
- 21歳 岡崎市職員採用試験(消防)に合格し、消防隊員になる。
- 23歳 消防、救助、救急すべてに強い隊員になるため、日々の訓練に取り組む。



先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



専門知識や技術をいかし、
お口の健康を通して患者さんを笑顔に。



荒木まいさん(1996年生まれ)

安城生活福祉高等専修学校 出身
慈恵歯科医療ファッション専門学校 卒業

やまむら歯科

刈谷市井ヶ谷町久伝原6-1
<https://www.yamamura-dc.com/>

なるためには

- 必要資格 / 歯科衛生士
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→座学や実習を通して基礎を学ぶ→国家試験に合格し、歯科衛生士の資格を取得→歯科医院に就職

—学生時代

「母が介護士をしていたこともあり、将来は手に職をつけて働きたいと思っていました。母や先生のすすめもあり、高校卒業後は、歯科衛生士学科が新設された姉妹校の慈恵歯科医療ファッション専門学校に進学しました。もともと私は歯医者が苦手だったのですが、優しい歯科衛生士さんがきっかけで通えるようになったんです。私もそんな歯科衛生士になりたいと思ったのもきっかけのひとつです」

「1年目は、歯科医療の基礎から解剖学や生物学、化学などまで幅広く学びました。2年目からより専門的な学びが増えていきます。生徒同士で練習した歯周病の検査、歯石や歯垢を除去するスクレーピング、PMT C(歯面研磨)などは、臨床にも直接いかされています。さまざま

な疾患と関連つけて歯周病について学んだことも役に立っています。臨床実習では、患者さんとのコミュニケーション能力が磨かれました。いろいろな場面で活躍する歯科衛生士の姿を目の当たりにし、改めて歯科衛生士になりたいという思いが強くなりました」

—仕事について

「国家試験に合格して歯科衛生士資格を取得し、現在は、やまむら歯科で働いています。1年目は、バキュームで唾液を吸ったり治療がスムーズにおこなえるように準備をしたり、先生のアシスタント業務

—メッセージ

「歯科衛生士の国家資格を取得するために、養成課程のある専門学校に進学するのが王道です。私はオープンキャンパスに参加して、学校の先生や先輩の雰囲気にも惹かれて慈恵歯科医療ファッション専門学校を選びました。新設の学科だったのですべてがキレイだったのもよかったです。楽しく学べる環境が整っている場所を選んだ方がいいと思いますよ。高校時代は、いまいかできないことを全力で楽しんでほしいです。勉強も頑張りながら、友達との時間も充実させてくださいね！」

ありがとうございます。

「お口の中の健康を通して、患者さんの健康をサポートする仕事です。現在は、歯石除去などの歯周病治療、ブラッシング指導、定期検診を担当しています。心がけているのは、人対人の仕事なのでコミュニケーションの部分。歯医者に行くのを楽しみにしている人ってあまりいないと思うので、コミュニケーションをとって歯医者への敷居を低くできるように意識しています」

—やりがい

「患者さんから感謝の言葉をいただいたときがやりがいを感ずる瞬間です。虫歯の治療は歯が痛いから通ってくるんですけど、歯周病は痛みがありませんので来なくなっちゃう患者さんもあるんです。でもコミュニケーションをとるなかで、ちゃんと通ってくれて徐々に歯周病の状態がよくなっていくのがわかるとうれしいですね」



自分史

18歳

手に職をつけて働きたいと思い、慈恵歯科医療ファッション専門学校へ。

21歳

歯科医療の基礎、実技などを学ぶ。歯科衛生士の国家資格を取得後、やまむら歯科に就職。

26歳

コミュニケーションを大切にし、お口の健康を通して患者さんを笑顔に。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



経理や福利厚生などの事務処理を通して
社員をサポートする。



福田詩歩さん (2003年生まれ)
豊橋商業高校 出身

トピー工業株式会社 豊橋製造所
豊橋市明海町1
<https://www.topy.co.jp/ja/index.html>

なるためには
●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→製造メーカーに就職→新人研修を経て事務職として働く

— 学生時代

「高校はハンドボール部に所属してキーパーをしていました。部活動では体力や精神面を鍛えられたのももちろん、キーパーはコート全体を唯一見渡せるポジションなので視野を広くもつ力が養われたと思います。部活動を引退してからは資格取得の勉強に力を入れ、在学中に日商簿記検定2級や実用英語技能検定2級など、さまざまな資格を取得しました」

現在の仕事に就いた経緯は？

「将来を考えたときに、取得した資格をいかして働きたいと考えるようになり、就職活動は家族や先生にも相談し、自分でも調べたうえで最終的に選んだのはトピー工業株式会社。創業100周年を迎えること知り、歴史ある企業で私も働きたいと感じたのが決め手です」

— 仕事について

「トピー工業株式会社は、自動車・建設機械用部品を中心に製造する鉄鋼メーカーです。入社後は全国の新人社員が一同に集まり、山梨県で宿泊研修をしました。研修では企業理念や職務に関する座学、レクリエーションを通して会社に対する理解や新人社員同士で親睦を深め、高校時代とはまた違った一体感を得られたという経験でした。研修後は業務グループに配属。先輩に指導していただきながら、基本的なパソコンを使った事務処理の操作、毎月のスケジュールに合わせた業務内容を段階的に学んでいきました」

— メッセージ

「必須の資格はありませんが、私は高校時代に学んだ簿記や電卓、ワードやエクセルなどオフィス関係の知識がいかにされていると思います。事務職の基礎スキルを学んでおいたおかげで、スムーズに業務ができています。高校生活のなかで、授業やテストでわからないところをそのままにせず、その場その場で解決する癖をつけておくことが大事です。さらに、先輩後輩や先生と円滑なコミュニケーションをとることは、社会人になってからも役立つのでぜひ意識してほしいです！」



仕事内容を簡単に教えてください。

「私が担当している業務は、社内の福利厚生に関する手続き業務など社員を対象におこなうものから、現金や当座預金の口座管理をおこなう経理業務やお客様対応など対外的に対応するものまで幅広くあります。入社してから少しずつ新しい業務を覚えてもらっているため、担当業務が増えるごとに常に新しい学びがあります。さまざまな業務を通し、社員が働きやすい環境を整えています。働くうえで心がけていることは、疑問に思ったことをそのまま放置せず、なるべくその場で先輩に確認してメモをとり、その日のうちに解決することです」

— やりがい

「新卒1年目なので、まだすべての業務をスムーズにできるとは言えません。しかし、前月に先輩から指導していただいたことを翌月自分ひとりの力でできるようになっていると、少しずつ成長しているなど、うれしくなります。毎月ルーティーンの業務をおこないつつ、一定期間で新しい業務を覚えていくので、常に新しい学びがあることもこの仕事のやりがいです」



自
分
の
年
齢

- 18歳 部活で体力、精神面を鍛えた高校生活。卒業後、トピー工業に就職。
- 19歳 宿泊研修で企業理念を学び、新入社員同士で親睦を深める。
- 20歳 先輩に指導してもらい、経理や社会保険、福利厚生などの事務を担当。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！
<http://amb100search.com>



「県民と警察を結ぶ音の架け橋」になる。
それが音楽隊としての役割。



深尾愛さん(1994年生まれ)

刈谷北高校 出身
愛知学院大学 経済学部卒業

愛知県警察本部

名古屋市中区三の丸 2-1-1
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→交番勤務を経験→音楽隊に配属

——学生時代

「中学・高校時代は吹奏楽部に所属し、トランペットを担当していました。コンクールの金賞を目指す中で、コツコツ努力する大切さを学び、忍耐力も鍛えられました。また、中学生の頃から、人の役に立ちたい、困っている誰かを支える仕事になりたいという思いから、漠然と公務員になりたいという気持ちがありました」

大学時代について教えてください。

「愛知学院大学に進学後も、公務員になりたいという気持ちは変わらぬ、最終的に警察官になることを目標にしました。警察官採用試験に向けて、大学の公務員試験対策講座を受講しました。教養試験や面接論文対策はとても役立ちましたし、些細なことで相談すると親身に伝えてくれたので、とても心強かったです」

——仕事について

「警察官に採用されると、最初の半年間は警察学校に入校します。警察官に必要な法律等の知識を深め、毎朝のランニングや剣道、柔道、逮捕術等の訓練では体力や精神力を鍛えます。大変なことも多かったのですが、同じ志をもつ仲間がまわりいたので頑張ることができました。警察学校を卒業後、2年間の交番勤務を経て、現在は警察本部広報課音楽隊で勤務し、ホルンを担当しています」

仕事内容を簡単に教えてください。
「県民と警察を結ぶ音の架け橋」と



「まず、県内各地のイベントで演奏活動をしています。演奏を通して、県民の皆様には防犯や交通事故防止を呼びかけ、また警察の活動に興味をもってもらえるように頑張っています。イベントが無い日は、演奏の練習をしています。音楽隊というと、音楽大学の出身者ばかりで、高度な演奏技術が必要というイメージをもっている方が多いかもしれませんが、私と同じように、中学や高校で吹奏楽部に所属していたという経験の人が多くですよ」

——やりがい

「この仕事は、音楽を通じて犯罪や事故を防止する」という、これまで私が培ってきた音楽スキルを活かして社会に貢献することができると素晴らしい仕事です。演奏を聴きに来てくれた方が、音楽に合わせて体を揺らしたり、手拍子をして一緒に歌ってくれたりすると嬉しいですね。県民の皆様から笑顔で「楽しかったよー」という声をいただいた瞬間は充実感があり、そこに警察官としての誇りとやりがいを感じています」

——なるためには

「まずは、警察官採用試験に合格することです。不安な方は、大学で実施されている公務員試験対策講座を受けることをおすすめします。先輩たちの経験を聞くこともできたので、私はとてもいい機会だったと思います。あとは、警察官になりたいという想いを強く持ち続けてください。また、学生時代は趣味でも部活でも何でもいいので夢中になって取り組めることを見つけて欲しいです。それがきつと人生の中で大きな自信につながると思います」

ありがとうございます。



18歳 中学高校と吹奏楽部に所属。卒業後、愛知学院大学に進学。
22歳 警察官採用試験に合格し、警察学校へ入校する。
27歳 音楽隊として勤務。音楽を通し、犯罪や事故の防止に努める。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！
<http://amb100search.com>

